

# **第4回地区庶務担当理事連絡協議会**

## **(平成29年7月22日開催分)**

### **△松井会長挨拶**

松井府医会長は、役員改選が6月に行われる地区も多いことから、この時期に新旧庶務担当理事連絡協議会を開催しているとした上で、府医と地区の連携を強化するためには、庶務担当理事連絡協議会が重要な役割を担っており、より一層意見交換を行いやすい関係を構築していきたいとの意向を示した。

### **△報告ならびに協議事項**

#### **1. 庶務関係連絡事項について（禹理事）**

「地区医師会長への連絡依頼事項」を各地区に配布し、諸手続きについて協力を依頼した。

#### **2. 最近の中央情勢について（米林理事）**

6月下旬から7月中旬にかけての社会・医療保険状況について、新設された医務技監の役割や社会保障関係費の自然増予測、紹介状なし大病院定額負担の話題を中心に説明した。

また、城守副会長より、厚生労働省の初代医務技監に就任した鈴木康裕氏を講師に招聘し、12月16日に医療政策懇談会を開催予定であることを報告した。

#### **3. 第43回京都医学会について（小野理事）**

9月24日（日）に開催される第43回京都医学会における特別講演・シンポジウムの内容を紹介し、多数の参加を募った。

#### **4. 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について（小野理事）**

日医かかりつけ医機能研修制度への地区医の対応について説明を行った。

地区医が開催する応用研修について、開催日や内容等の詳細を決定した後、府医学術生涯研修課に開催日の7週間前までに、応用研修単位の申請を行うこと、研修会当日は、厳格な入退室管理を行うよう依頼した。

#### **5. 府医生涯教育セミナーについて（小野理事）**

9月2日（土）に開催される第19回京都府医師会生涯教育セミナーの内容を紹介し、多数の参加を募った。

## **6. 日医生涯教育講座受講証の様式変更について（小野理事）**

日医生涯教育講座受講証について、現在のA6サイズからA4サイズに変更することを報告。  
地区医師会主催の講演会用の受講証については、府医から提供するテンプレートにより、地区医にて作成すること、府医及び地区医師会長連名で発行していたものを各地区医師会長の名前・公印で発行すること、複数の地区が共催して開催する場合は、主催もしくは当番の地区医師会長名で発行することを説明した。

## **7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）**

8・9月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

## **8. (有) ケーエムエーの事業案内（禹理事）**

(有) ケーエムエー (KMA) の事業内容についての案内を行った。

## **9. その他**

なし。

## **10. 地区からのご意見・ご要望**

なし。